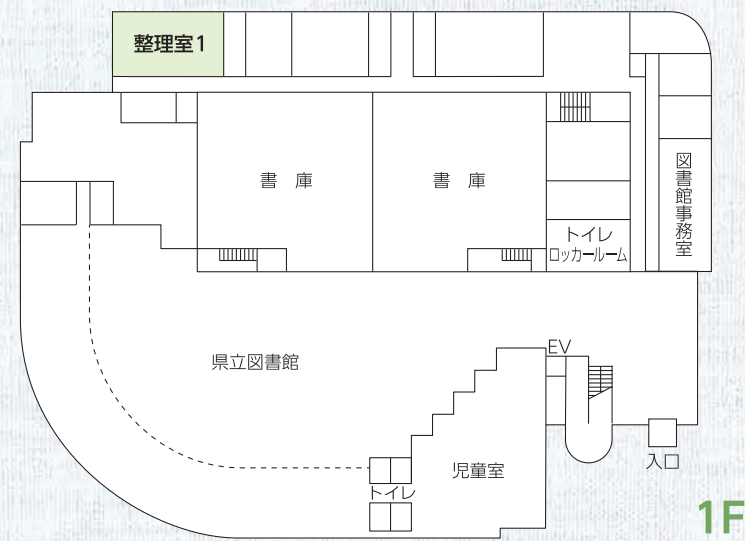
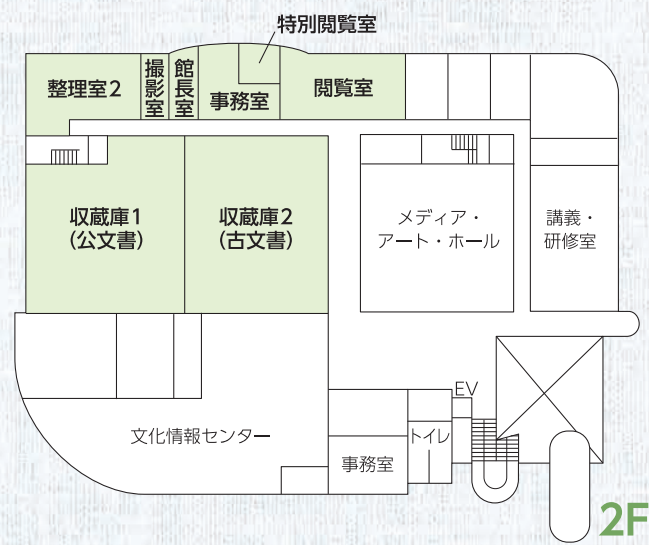


施設概要

きのくに志学館 2階

施設 閲覧室 特別閲覧室
 収蔵庫 1・2
 整理室 1・2
 事務室



利用案内

開館時間

火曜日～金曜日 午前10時～午後6時
 土曜日・日曜日 午前10時～午後5時
 祝日・振替休日 午前10時～午後5時

休館日

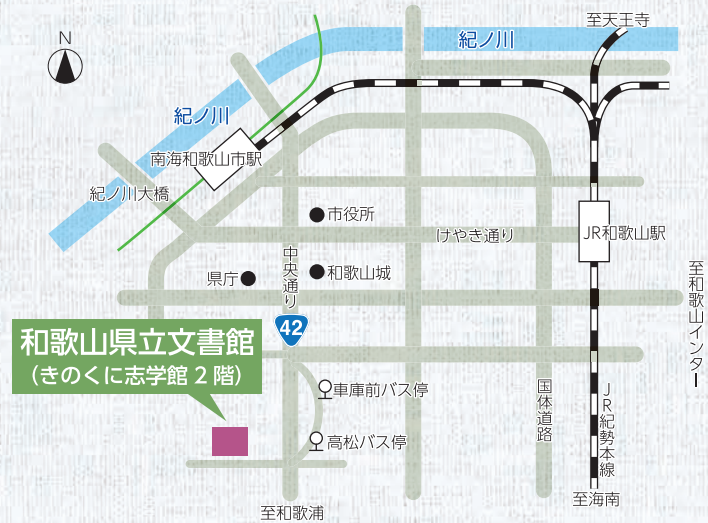
月曜日（祝日・振替休日と重なるときは開館し、その翌日が休館）
 年末年始（12月29日～1月3日）
 館内整理日 1月4日（月曜日のときは1月5日）
 2月～12月 毎月第2木曜日
 （祝日と重なるときはその翌日）
 特別整理期間 年1回

利用案内

- 閲覧室に配架されている行政刊物や書籍などは自由に閲覧できます。
- 古文書の閲覧は原本の保存のため複製物（写真版）とします。
- 公文書や行政刊物等は原本で閲覧できます。
- 古文書・公文書の閲覧は、所蔵資料目録等で必要な資料を検索し、閲覧申請書に必要事項を記入して受付カウンターで申請してください。
- 資料の複写を希望する際は、複写承認申請書に必要事項を記入して受付カウンターで申請してください（有料）。
- 貴重品・筆記用具以外の所持品は、ロッカー（無料）に入れてください。

交通案内

公共交通 JR和歌山駅または南海電鉄和歌山市駅から和歌山バス乗車約20分
 高松バス下車 徒歩約3分
 駐車場 77台（うち3台は身体障害者用）
 〈*駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関を御利用ください〉



和歌山県立文書館 Wakayama Prefectural Archives



〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7-38 きのくに志学館 2階
 TEL:073-436-9540 FAX:073-436-9541
 ホームページ
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/>
 和歌山県歴史資料アーカイブ
<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/index.html>

設置目的

県立文書館は、今日までの県や県内各地域のあゆみが記された次の資料を収集・保存・整理して未来へ伝えるとともに、それらを公開し、活用を図ることで県民の学術・文化の発展に寄与する歴史資料の保存・公開施設です。

- 古文書：県内各地域に伝えられた過去の書状や記録など
- 公文書：県庁各課室で事業実施のために作成された文書など
- 行政刊物：県や県内市町村、国等が発行した刊行物

業務内容

- 収集・保存 古文書・公文書・行政刊物等を収集し、収蔵庫で長期的に保存します。
- 整理・公開 収集した資料を識別できるように整理し、必要な保存処置を施したうえで公開します。
- 調査研究 県内各地の古文書等を調査研究して地域での保存を図ります。
- 普及啓発 資料の整理や調査・研究の成果を刊行物や各種講座等を通じて普及啓発します。
- 和歌山県歴史資料アーカイブ ホームページに「和歌山県歴史資料アーカイブ」をもうけ、過去の和歌山を記録した古文書や写真などを公開します。

沿革

- 昭和63年2月 政策調整会議で文書館・図書館・文化情報センターの設置が決定される。
- 4月 文書館等建設のため、教育委員会に文化施設整備室が設置される。
- 9月 政策調整会議で公文書館の設置が決定される。基本構想策定のため「図書館等建設基本構想検討委員会」が設置される。
- 平成元年4月 基本構想が教育長に答申される。
- 11月 図書館（図書館、文化情報センター）と文書館（文書館、公文書館）併設の基本計画がまとまる。
- 2年3月 和歌山大学経済学部跡地 10,000㎡が確保され、基本設計に着手する。
- 3年7月 着工。
- 5年2月 「和歌山県立文書館」が正式名称となる。
- 3月 「和歌山県立文書館設置及び管理条例」が公布される。
- 竣工。
- 7月 開館。



えつらんしつ 閲覧室

配架されている行政刊行物等を自由に閲覧いただけます。受付に申請いただくと収蔵庫に保管されている文書等の閲覧ができます。また、展示ケースで随時古文書等の原本を展示しています。



とくべつえつらんしつ
特別閲覧室 古文書原本などを特に閲覧
いただく際に使用します。



しゅうぞうこ
収蔵庫1 (公文書用)
スペースの有効利用を図る
ため公文書の収蔵庫では移
動式書架になっています。

しゅうぞうこ 収蔵庫2 (古文書用)

空調設備・ハロンガス消防装置を完備し、文書を適切な状態で保存します。文書を損なわないように古文書の収蔵庫では開架式書架になっています。



こもんじよ 古文書

現代に伝えられた貴重な古文書の調査や研究を行い、現地での保存を図るとともに、必要に応じて収集します。また、複製やデジタル化をはじめ様々な保存と公開の取組を行っています。

●民間所在資料の調査

県内各地の古文書について保管状況や数量等を記録し、現地での保存を援助します。また、調査記録は災害後に資料の安否を確認したり、被災した資料を救出・保全する基本データとしても活用します。



所蔵資料例

■紀州家中系譜並に 親類書上げ

紀州藩士が代替わりごとに藩に提出した自家の系譜や親類書約15,700点。



千宗左 (表千家) の系譜



■北一夫氏旧蔵北家文書

現紀の川市荒見の旧家北家に伝わった中世から近現代にわたる文書。

こうぶんしよ 公文書

完結後20年を経過した県庁の永久保存文書や、有期限文書のうち事業の目的や計画、予算を記したのものなど、将来において今日の県政を検証する歴史的価値を有する重要な公文書を収集・保存します。

所蔵資料例



昭和13年に作成された公文書

ぎょうせい かん こう ぶつ 行政刊行物

県や市町村、国等が発行した刊行物を収集・保存しています。

所蔵資料例

■『和歌山県報』

県が制定した条例や規則、告示などをまとめて印刷・発行するもので、明治33年4月から現在まで発行が続けられています。



『和歌山県報』目録

※『和歌山県報』・『県民の友』は「和歌山県歴史資料アーカイブ」で順次公開しています。



『県民の友』第1号

■『県民の友』

県の広報紙で、昭和22年9月から現在まで発行が続けられています。



和歌山県歴史資料アーカイブ

<https://www.lib.wakayama-c.ed.jp/monjyo/archive/index.html>



過去の和歌山が記録された古文書や写真などをホームページ上で公開し、広く親しむ機会を提供します。地域の歴史研究や古文書学習の資料、学校の教材などとして幅広く御活用ください。(右のQRコードからアクセスできます。)



- *掲載資料を掲載・展示・放送などに二次的利用する際は、「和歌山県歴史資料アーカイブ」から転載したことを明記してください。
- *当館所蔵資料以外の掲載資料の利用を希望する場合は、当館へ連絡してください。

掲載資料例

■和歌山県営繕技師増田八郎関係資料 (当館蔵)



和歌山県営繕技師として、現和歌山県庁(昭和13年4月竣工)の設計・監督を務めた増田八郎に関する資料。県庁舎建築の過程や竣工時の様子を撮影した、貴重なスクラップ帳2冊を公開。

■堀内家文書 (当館蔵)

紀州藩史研究の基本資料である『南紀徳川史』を編纂した堀内信にかかわる資料。



■耐久梧陵文庫 (県立耐久高校蔵)



県立耐久高校(湯浅町)に伝わった蔵書。濱口容所ら地元の有力者が学校へ寄贈した江戸~明治時代の書籍が中心。名称は同校創設者の一人である濱口梧陵にちなむ。